



2025年3月27日

各位

会社名 阪急阪神ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶋田 泰夫
(コード番号 9042 東証プライム)
問合せ先 グループ経営企画室 経理部長 信本 秀夫
(TEL. 06-6373-5013)

次期からの株主還元方針の変更および次期配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、株主還元方針の変更および次期配当予想について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更について

(1) 変更の理由

当社は、本日発表した「阪急阪神ホールディングスグループ 長期経営構想 深める沿線 拡げるフィールド ～未来へ、そして世界へ～」の通り、中長期的な成長を実現するとともに、株主還元の充実等を通じて、資本効率の向上に向けたバランスシートのコントロールを行ってまいります。この考え方にに基づき、2026年3月期より株主還元方針を変更することといたしました。

(2) 変更の内容

変更前	当社グループは、総還元性向を株主還元の指標と位置づけており、経営基盤の一層の強化に努めながら、 <u>総還元性向を30%</u> とすることで、安定的な配当の実施と自己株式の取得に取り組むことを基本方針としています。 なお、自己株式については、保有の上限を発行済株式総数の5%とし、上限を超過した場合は消却することとします。
変更後	当社グループは、財務の健全性を踏まえた上で、中長期的な成長を目指した成長投資と、資本効率の向上を意識した株主還元を努めてまいります。 株主還元については、 <u>年間配当金の下限を1株当たり100円とする安定的な配当の実施と、総還元性向50%を目安にキャッシュフローの状況を踏まえた弾力的な自己株式の取得</u> に取り組むことを基本方針としています。 なお、自己株式については、保有の上限を発行済株式総数の5%とし、上限を超過した場合は消却することとします。

(ご参考) 総還元性向の算出方法

$$n \text{ 年度の総還元性向 (\%)} = \frac{(n \text{ 年度の年間配当金総額}) + (n + 1 \text{ 年度の自己株式取得額})}{n \text{ 年度の親会社株主に帰属する当期純利益}} \times 100$$

(3) 変更の時期

2026年3月期より適用いたします。

2. 次期配当予想について

(1) 次期配当予想の考え方

株主還元方針の変更に伴い、次期（2026年3月期）の1株当たりの年間配当金につきましては、100円（中間配当金50円、期末配当金50円）に引き上げることを予定しています。

※ 当期（2025年3月期）の1株当たりの年間配当金は60円（中間配当金30円、期末配当金30円）を予定

(2) 2026年3月期 配当予想の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
次期予想 (2026年3月期)	円 銭 -	円 銭 50.00	円 銭 -	円 銭 50.00	円 銭 100.00

(ご参考) 自己株式取得額について

株主還元方針は、次期（2026年3月期）から変更するものであり、変更後の総還元性向（50%を目安）による自己株式の取得は、前ページ「(ご参考) 総還元性向の算出方法」の通り、2026年3月期（2025年度）に係る親会社株主に帰属する当期純利益に基づき、2027年3月期（2026年度）から実施する予定です。

以上